

【博多湾環境モニタリング調査結果の一覧】

(1/2ページ)

海域	項目		目標値	現状値 ^{※1} H26年度	結果 H29年度	結果 H30年度	結果 R元年度	結果 R2年度	結果 R3年度	結果 R4年度	
博多湾全域	環境基準達成率	COD	100%	62.5%	50%	37.5%	25%	50%	37.5%	25%	
		T-N		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
		T-P		100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
	赤潮発生件数		現状値より減少	8件	3件	2件	5件	3件	4件	4件	
岩礁海域	透明度		現状維持	2.4~6.2m ^{※2}	2.5~6.9m ^{※2}	2.5~8.3m ^{※2}	2.2~6.6m ^{※2}	2.6~8.2m ^{※2}	2.1~7.6m ^{※2}	2.3~7.4m ^{※2}	
	藻場の造成箇所数		現状値より増加	1地区	1地区	1地区	※3	※3	※3	※3	
	海藻類の種類	今津	現状値より増加	63種	58種	55種	58種	55種	54種	56種	
		能古島		53種	49種	49種	49種	47種	47種		
		志賀島		54種	56種	57種	57種	54種	56種		
藻場で生息する稚仔魚等		継続して確認	-	宮浦 46種 唐泊 54種 小戸 34種	宮浦 49種 大岳 51種 西戸崎 42種	継続して確認	継続して確認	継続して確認	継続して確認		
干潟域	和白干潟の干潟生物		種数	13~38種 ^{※4}	13~43種 ^{※4}	14~41種 ^{※4}	12~41種 ^{※4}	15~38種 ^{※4}	13~39種 ^{※4}	11~45種 ^{※4}	
			個体数	838~ 8,426個体/m ² ^{※4}	1,268~ 22,993個体/m ² ^{※4}	979~ 6,671個体/m ² ^{※4}	1,065~ 8,178個体/m ² ^{※4}	850~ 8,191個体/m ² ^{※4}	1,282~ 8,202個体/m ² ^{※4}	255~ 14,584個体/m ² ^{※4}	
			湿重量	48.2~ 1,748.61g/m ² ^{※4}	199.29~ 1,388.65g/m ² ^{※4}	15.57~ 1,879.89g/m ² ^{※4}	5.33~ 2,778.52g/m ² ^{※4}	99.9~ 1,249.04g/m ² ^{※4}	114.24~ 1,145.07g/m ² ^{※4}	4.1~ 2,183.97g/m ² ^{※4}	
	カブトガニ	産卵数	休憩所前	現状維持	11卵塊	20卵塊	25卵塊	18卵塊	30卵塊	64卵塊	18卵塊
			瑞梅寺川江の口川河口		27卵塊	35卵塊	25卵塊	9卵塊	15卵塊	7卵塊	26卵塊
		幼生数 (確認地点数)	休憩所前		25箇所	45箇所	55箇所	23箇所	37箇所	47箇所	11箇所
			瑞梅寺川江の口川河口		11箇所	24箇所	26箇所	16箇所	2箇所	38箇所	6箇所
		亜成体の個体数			29個体	27個体	56個体	89個体	39個体	18個体	51個体
	成体の個体数		23個体	42個体	76個体	338個体	214個体	164個体	283個体		
	室見川河口干潟のアサリ		稚貝の個体数	現状値より増加	2,765.8~ 3,397.5万個体 ^{※5}	12,632.5~ 36,334.5万個体 ^{※5}	1,743.4~ 25,381.2万個体 ^{※5}	1,091.7~ 13,097.3万個体 ^{※5}	4,192.4~ 13,198.8万個体 ^{※5}	683.0~ 4,021.6万個体 ^{※5}	1,209.9~ 17,993.7万個体 ^{※5}
			成貝の個体数		1.6~ 32.9万個体 ^{※5}	288.9~ 767.6万個体 ^{※5}	701.6~ 1,570.0万個体 ^{※5}	173.3~ 527.1万個体 ^{※5}	105.9~ 120.7万個体 ^{※5}	3.8~ 153.3万個体 ^{※5}	3.8~ 10.3万個体 ^{※5}
アサリ生産量		100トン	11トン	20トン	30トン	20トン	7トン	0.3トン	0.2トン		

※1 現状値については、第二次計画策定時点の現状値として、平成26年度とする。

※2 各地点の年平均値の最小~最大

※3 小呂島で造成を実施（博多湾内ではないため、計上せず）

※4 各地点・各季の最小~最大

※5 各季の最小~最大

海域	項目		目標値	現状値 H26年度	結果 H29年度	結果 H30年度	結果 R元年度	結果 R2年度	結果 R3年度	結果 R4年度	
砂浜海岸	海浜地ごみ回収量		現状維持	702トン	454トン	1,346トン	451トン	429トン	465トン	276トン	
	ラブアース・クリーンアップ参加者数		現状値より増加	36,682人	44,415人	45,476人	43,809人	7,695人 ^{※6}	14,333人 ^{※6}	33,276人	
	水浴場水質判定	遊泳期間前	水質A以上 ：全地点	5地点/5地点	5地点/5地点	1地点/5地点	3地点/5地点	5地点/5地点	4地点/5地点	0地点/5地点	
		遊泳期間中		1地点/5地点	4地点/5地点	1地点/5地点	2地点/5地点	3地点/5地点	3地点/5地点	3地点/5地点	
	百道浜来客数		現状値より増加	121万人	163万人	160万人	171万人	191万人	201万人	247万人	
浅海域	貧酸素水塊		発生地点数	現状値より減少	12地点/16地点	15地点/16地点	12地点/16地点	14地点/16地点	12地点/16地点	13地点/16地点	10地点/16地点
	底生生物		種数	現状維持	5～30種 ^{※7}	10～39種 ^{※7}	15～41種 ^{※7}	6～44種 ^{※7}	8～34種 ^{※7}	0～50種 ^{※7}	5～43種 ^{※7}
			個体数		355～ 6,291個体/m ² ^{※7}	546～ 12,826個体/m ² ^{※7}	1,648～ 13,271個体/m ² ^{※7}	553～ 17,482個体/m ² ^{※7}	833～ 16,736個体/m ² ^{※7}	0～ 9,436個体/m ² ^{※7}	113～ 8,297個体/m ² ^{※7}
			湿重量		2.2～ 147.68g/m ² ^{※7}	9.93～ 142.06g/m ² ^{※7}	43.20～ 190.96g/m ² ^{※7}	4.87～ 220.82g/m ² ^{※7}	18.27～ 170.95g/m ² ^{※7}	0～ 142.07g/m ² ^{※7}	2.06～ 156.81g/m ² ^{※7}
	アマモ場で 生息する 稚仔魚等	出現種数 ^{※8}	能古島	現状維持	11種	19種	15種	15種	20種	17種	24種
			志賀島		20種	21種	24種	32種	24種	27種	14種
		個体数 ^{※8}	能古島		約180個体	約300個体	約230個体	約270個体	約130個体	約190個体	約640個体
			志賀島		約1,000個体	約220個体	約5,200個体	約450個体	約2,200個体	約630個体	約110個体
	港湾域	浮遊ごみ回収量		現状維持	172トン	65トン	115トン	47トン	43トン	25トン	36トン
	その他	魚類		稚仔魚・成魚が いずれも継続 して確認	魚類を確認 ^{※9}	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認	稚魚と成魚を確認
カブトガニ		連続した世代が 継続して確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認	連続した世代を 確認		
アサリ		幼生が継続して確 認 稚貝と成貝の個体 数が増加	幼生を確認	・幼生を継続して確認 ・稚貝と成貝は6月に 増加、11月にさらに 増加	・幼生を継続して確認 ・稚貝は5月は高値を 維持 10月に大幅な減少 ・成貝は5月に大幅な 増加 10月にやや減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は5月に減少 11月に増加 ・成貝は5月に減少 11月にさらに減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は6月に減少 10月に増加 ・成貝は6月に減少 10月にさらに減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は5月、10月とも に減少 ・成貝は5月に増加、 10月に減少	・幼生を継続して確認 ・稚貝は5月に減少、 10月に増加 ・成貝は5月、10月とも に減少		

※6 支援をおこなった自主的な清掃の参加人数

※7 貧酸素発生地点における各地点・各季の最小～最大

※8 令和4年度が魚類のみの集計のため、過年度も魚類のみの種数、個体数に再集計

※9 アマモ場周辺での結果（稚仔魚・成魚の区別は不明）